

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 3 月 22 日作成)

小委員会名	地震荷重・構造性能小委員会		主 査 名：高田毅士 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)		委員長名：中島正愛 主 査 名：河井宏允
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	一般構造物を対象にした地震荷重の設定において、より合理的な地震荷重の枠組みを構築するために、地域係数・用途係数(重要度係数)、地震動予測地図の活用について議論し検討する。さらに、2014 年の荷重指針改訂に向けた準備を行う。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	井上超(間組)、石井透(清水建設)、石山祐二(元北海道大)、曾田五月也(早大)、田村良一(篠塚研)、中村博一(フォーラムエイト)、藤堂正喜(戸田建設)、福島誠一郎(東電設計)、糸井達哉(東京大学)、松島信一(京大)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. (書名) なし
講習会	1. (名称) なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	1. AIJ 大会 PD「これからの建築物の耐震設計に地域係数は必要か？」実施 <span style="float: right;">参加者数 約 200 名</span>
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 2011.2.15 建築物の地震荷重設定立場からの地震本部への要望 提出 2. 2011.2.28 「超高層建築物等における長周期地震動への対策試案について」に対するコメント送付
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 所定の計画が達成できた。
委員会活動の問題点・課題	1. 2014 年の建築物荷重指針改定に向けた組織づくりが必要で、現在、振動運営委員会と情報交換を行っている。